

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

壁掛けスクリーン＋三脚スタンド（WAV-ST100） 取り扱い及び設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置方法を誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

◆ 下記のマークのある注意事項および、指示内容を、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



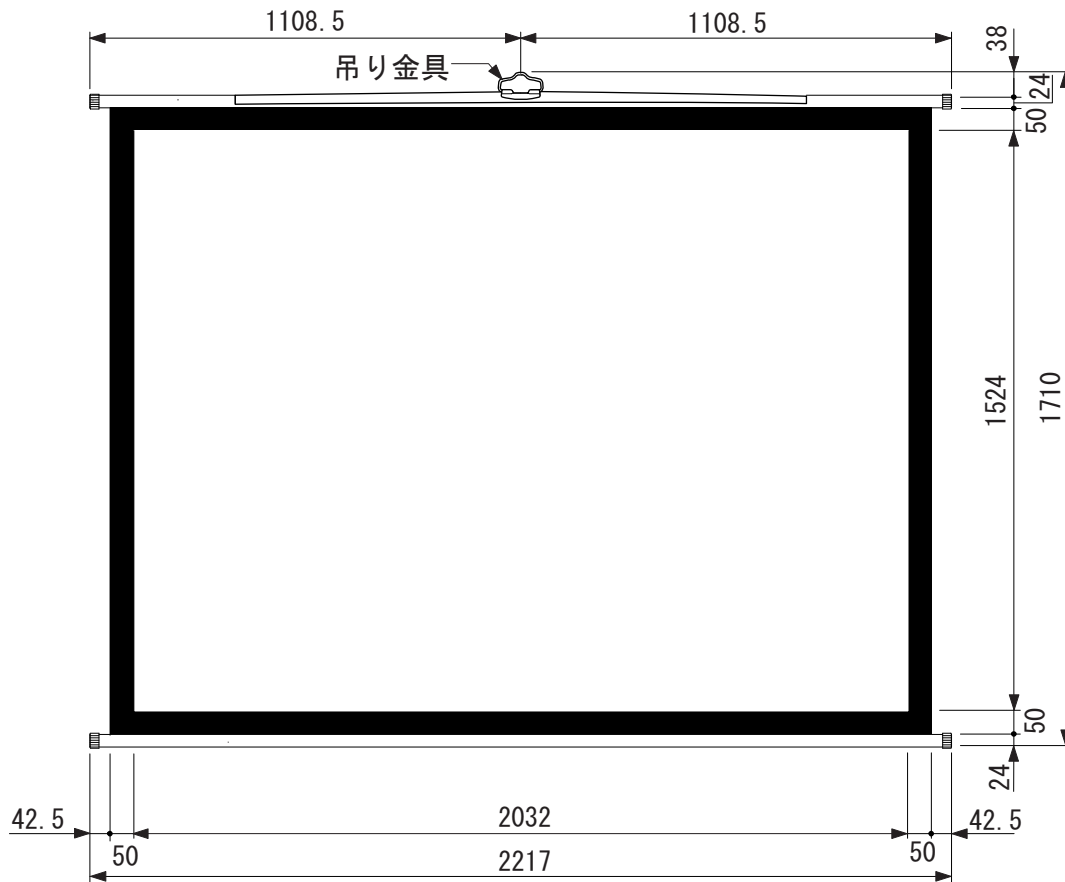
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

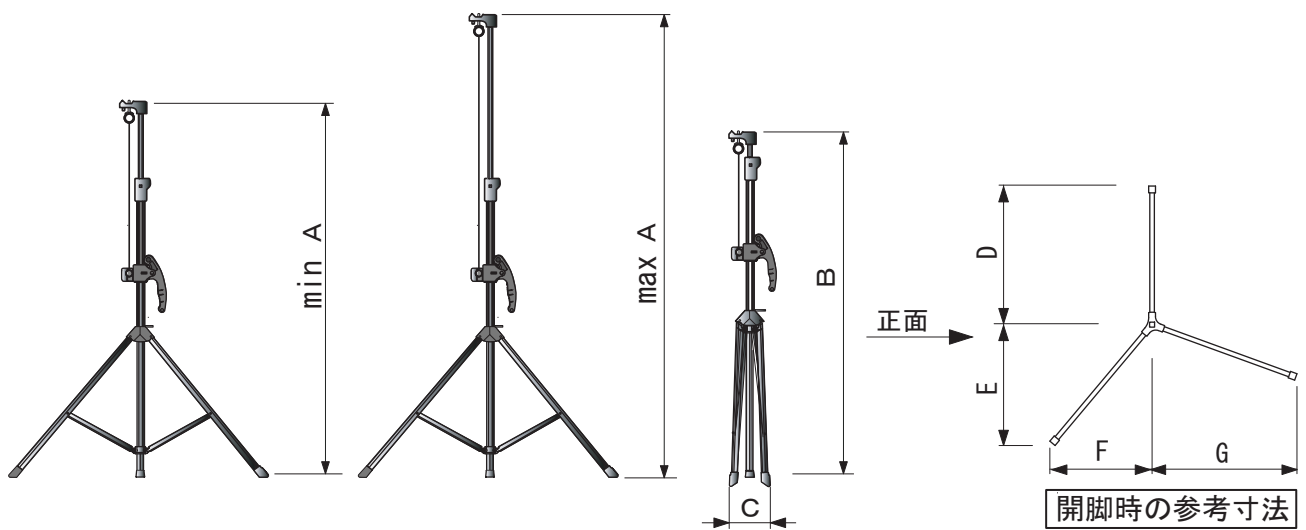
取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

壁掛けスクリーン寸法図



重量 = 3.8kg

◆壁がご使用になれない時は、下記スタンドをご利用ください。



■スタンド規格一覧

| 型番 | 使用時 A (mm) | | 脚を閉じた時 | | 開脚寸法 | | | | 重量 (Kg) |
|-------|------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 最低位置 | 最高位置 | B (mm) | C (mm) | D (mm) | E (mm) | F (mm) | G (mm) | |
| SST-1 | 1678 | 2400 | 1610 | 60 | 530 | 390 | 360 | 500 | 2.1 |

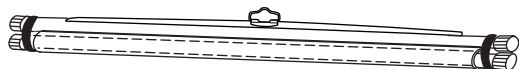
スクリーンの取り付け方法

吊り金具又は、ヒートンなどを利用してかけます。吊り金具やヒートンは付属しておりませんので、お客様の方でご用意ください。



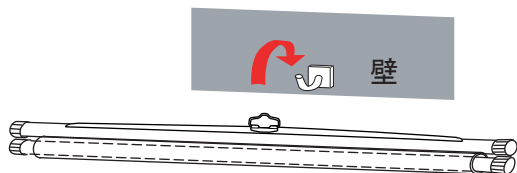
製品重量に見合った金具をお選び下さい。不適切な選択の場合、金具の変形、スクリーンの脱落などの恐れがあります。

- ① 上下パイプ固定用の黒ゴムバンドをはずします。



- ② スクリーンをかけます。

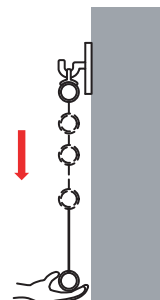
片方の手で上下パイプを握り、もう一方の手でパイプの吊り金具を持ち、吊り金具又はヒートンにかけます。



- ③ スクリーンをおろします。掛軸をかける要領で、下部パイプに巻き付いているスクリーンに手を添えてゆっくりと下へ降ろします。



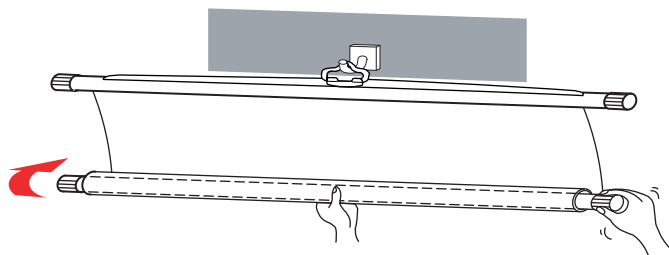
手を添えずに急に離すと、スクリーンを傷つけたり壊したりすることがあります。



スクリーンの収納方法

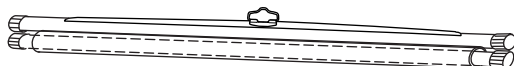
- ① スクリーンを巻き上げます。

下部パイプの中央部を持って一周させてから、片方の手でパイプ端の黒キャップをしっかり握り、強めに巻き上げて下さい。この際もう片方の手では、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にして下さい。

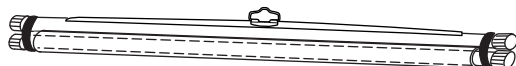


中央部を強く握るとスクリーン表面に傷などが付く恐れがあります。

- ③ スクリーンはずします。
2ページのスクリーン取り付け方法の②の逆の動作でとりはずしてください。
- ④ パイプの外側の部分を両手の親指で軽く押しつけながら巻いていきます。



- ⑤ 保護用の為に、付属の黒ゴムバンドを下図のようにかけます。



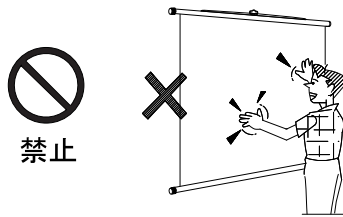
使い終わったスクリーンは、必ず付属のキャリングケースに入れ、水平に保管してください。スクリーン単体を立てかけたまま放置しないでください。転倒によりスクリーンが傷つく恐れがあります。

注意

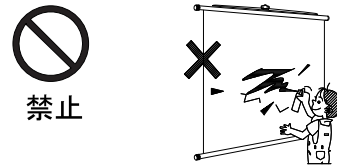
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

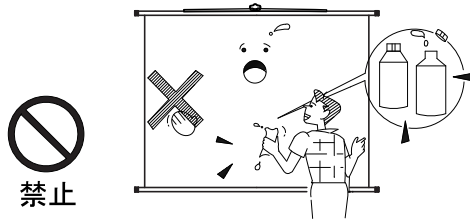
- スクリーン面に手をふれないでください。



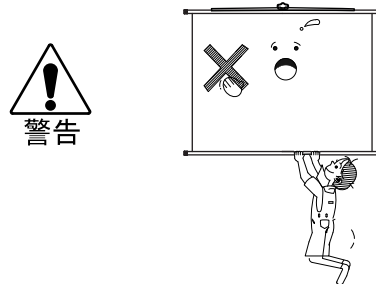
- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



- ベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーン表面が変質したり塗料がはげたりします。



- パイプやスクリーンにぶらさがったりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

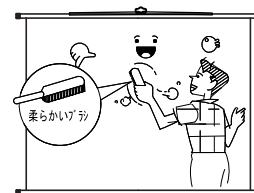


お手入れのしかた

- パイプの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。